

**ITを活用したお客さまサービスの向上を目指して**  
**「モバイル ネットワーク サービス（無線通信サービス）」インフラ の共同化**  
～ モバイルコンピューティングを活用した先進的なコンサルティングサービスの提供～

住友生命保険相互会社（社長 横山 進一）、明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）は、ITを活用したお客さまサービスの向上と営業職員によるコンサルティングサービス力向上の一環として、「モバイル ネットワーク サービス（無線通信サービス）」のインフラを共同構築します。

新しく構築するモバイル ネットワーク インフラは、昨年（平成12年）10月に、住友生命・明治生命・日本電気・日本オラクルが共同設立した「リバンスネット株式会社（社長 樋口 孝之）」が提供するサービスの形態とし、今後、利用企業の拡大に向け、働きかけていく予定であります。

住友生命・明治生命は、リバンスネット株式会社を通じ、全国オンライン通信ネットワークの共同化に続き、技術革新が進展する無線ネットワーク分野でも提携（IT共同化の第三弾）し、今後、この共同ネットワーク上で、様々な戦略的サービスをより低廉なコストで実現することにより、さらにお客さまサービスを充実してまいります。

住友生命・明治生命のIT共同化

- <第一弾>全国オンライン通信ネットワークの共同化（生保共同ネットワーク）
- <第二弾>団体年金事務・システムの共同化

**「モバイル ネットワーク サービス」の特徴**

1. 自前で無線通信設備を持たずに、リバンスネット社へのアウトソーシングという形態により、住友生命・明治生命共通のモバイルネットワークを実現します。
2. 営業職員が使用している携帯パソコンを携帯電話 / PHS・PHSカード等経由で、各社のホストコンピュータとの無線接続を可能にします。

外出先でもお客さまのご要望やご照会に即時にお答えできるよう、事業所内で行っているシステムと同様のコンサルティング機能等を利用可能にします。

3. 一般の通信プロバイダサービスでは提供していない、オーダーメイドでのセキュリティ対策（許可されたユーザー以外からのアクセスを防御する利用者認証機能サービス等）や利用者管理機能を実現します。
4. 共同利用により、個社単独で構築するよりも、大幅なコスト圧縮を実現します。

【今後の予定】

住友生命では、平成13年4月に営業職員45,000人に配備した、携帯端末「Withスミセイ」にモバイル機能を搭載（標準化）し、平成13年10月を目処に以下のサービスを開始します。

「モバイルオンライン」

社内業務システムとモバイル接続し、外出先での社内オンライン利用を実現

「営業職員専用モバイルEメール」

リバンスネットの新ASPサービスであるEメールサービスを利用して、一般のプロバイダサービスでは実現されていないオーダーメイドでのセキュリティ対策や利用者管理機能（営業職員の入退社管理）を実現

明治生命では、営業職員携帯パソコン「ほほえみくん（平成9年10月に営業職員32,000人に配備）」のオプション機能として、平成10年10月から「ほほえみくんモバイルサービス」を実施しています。

このサービスにより、モバイル接続による携帯パソコン「ほほえみくん」での社内オンライン利用やインターネットの利用およびお客さまへの「Eメール設計書」のお届けなど、営業職員によるインターネット基盤を活用した社外での営業・サービス活動を支援しています。

今後、配備予定の「次期営業職員パソコン」については、今回構築したインフラを活用したモバイルネットワークサービスの利用を検討しています。

以上

<モバイル ネットワーク サービス イメージ>

